

6月26日(水) <校長から、生徒の皆さんや本校に関心のある方に、折々に伝えたいことを発信します>

1. 「デジタルネイティブ」の君たちへ伝えたいこと

スマートフォンが爆発的に普及したのは2000年代の終わり頃、君たちが赤ちゃんか幼児の頃だろう。君たちが生まれる前に「携帯電話」は既に当たり前に使われていたし、パソコンでインターネットにつなぐことも仕事や生活で必要不可欠になっていた。だから君たちは生まれた時からデジタル環境に囲まれて生きており、それが「当たり前」だと思って生活している、デジタルネイティブと言える。

つい先週、「オンライン授業デー」の設定があった。全学年で自分の端末を持つことになったせいもあり、非常にスムーズにオンライン授業が行われていた。もう、PCやスマホは文房具と同じレベルで高校生が使う物になったのだなあ、と感心する反面、道具として人間が使うのではなく、道具に使われている人間はいないのか、君たちは本当に大丈夫か?と少々心配にもなった。

オンライン授業からは離れるが、私も含めて日常で便利に使っている例を通して少し考えてほしい。例えば、LINEで読むことができるnewsがある。興味のある記事を読覧すると、次々に似たような記事が優先的に配信されてくるようになる。Amazonで買い物をしたとする。私は本をよく買うが、以前に買った分野のおすすめ本が勝手に表示される。ということは、そのままLINEやAmazonのおすすめに従っていたら、かなり偏った情報にしか触れることができなくなるのではないだろうか? また、Googleで何かを検索したとする。ものの数秒で、求めていた情報にかなり近いものが表示される。でも、その内容が本当に正しいものなのか、情報の出所まで君たちは確認しているだろうか……。

受ける側だけでなく、発信する側としてもよく考えたい。SNSは便利で手放せない。しかし、相手の表情が見えないLINEのコマ切りの言葉やスタンプのやり取りで、誤解が生まれていないか? そのインスタは、見せて大丈夫な内容なのか? 写真、送って大丈夫なのか? 等々。使い方を間違えると、簡単には消えない「デジタルタトゥー」となって、自分の将来を狭めてしまうことにもなりかねない。ただの文房具とは違う、頭脳を持った道具であることをもう一度よく考えて、本当の意味で使いこなしてほしいと私は強く願っている。そのためには、出す前にちょっと立ち止まって考える、「考える力」が我々に必要なのだ。

2. 正しく自己主張する力が君にはあるか?

自分で意識的に考えなくても、おすすめに従って生きていけば、ある意味で好きな情報に囲まれて、快適に過ごせるのかも知れない。

でも、本当にそうだろうか? 「何か違う気がする」と危機を察知する力が、人間にはもともと備わっている。ただ、その力は意図的に使っていないと働かなくなってしまう。だから、「考える力」が必要なのだ。そして、もう一つ、「考えたことを発信する力」=「自己主張する力」がないと、思わぬ方向へ流されてしまう。今、毎時間、様々な教科科目で学習しているその全ては、君たちの「正しく自己主張する力」を育てる土台を作る。実技教科もHRや行事や部活動も、学校は毎日が考えて表現するための重要な場の連続だ。

ルールやマナーに従わない言動は、正しい自己主張とは言えない。集団には、ルールやマナーがあるからこそ自由もある。自由は正しい自己主張から生まれるのだから。

